

横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨	
日 時	令和4年11月17日(木) 15時30分～16時30分
開催場所	市庁舎10階 本部会議室
出席者	<p>【正副本部長】 市長、平原副市長、城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、高坂危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長、デジタル統括本部長(代理:担当部長)、政策局長、総務局長(代理:副局長)、財政局長(代理:副局長)、国際局長(代理:担当部長)、市民局長(代理:副局長)、文化観光局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、感染症・健康安全室長、医療局長、環境創造局長、資源循環局長、建築局長(代理:副局長)、都市整備局長、道路局長(代理:副局長)、港湾局長、消防局長、会計室長(代理:担当部長)、水道局長(代理:副局長)、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長(代理:選挙部長)、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長(代理:担当部長)</p> <p>【区】栄区長、緑区長、泉区長(代理:副区長)</p> <p>【その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
開催形態	マスコミ公開
議 事	<p>開 会</p> <p>1 感染状況等</p> <p>(1) 第6波以降の感染発生等の状況<感染症対策チーム> 資料に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p>(2) 病床使用状況<病床・医療提供体制確保チーム> 資料に沿って説明【医療局長】</p> <p>(3) 市立学校の陽性者数・学級閉鎖数の推移<教育委員会事務局> 資料に沿って説明【教育長】</p> <p>(4) 保育所等の陽性者数・閉園数の推移<こども青少年局> 資料に沿って説明【こども青少年局長】</p> <p>(5) コールセンターの状況<感染症対策チーム> 資料に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p>(6) 1週間当たりの救急搬送困難事案の推移<消防局> 資料に沿って説明【消防局長】</p> <p>(7) インフルエンザ発生状況<感染症対策チーム> 資料に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p>(8) オミクロン株対応ワクチン接種実績 累積接種数<感染症対策チーム> 資料に沿って説明【健康福祉局長】</p> <p>2 第7波における課題 資料に沿って説明【市長、健康福祉局長、医療局長、消防局長】 【市長】 ・第7波における課題は、過去最多の感染者が発生したことによる、救急のひっ迫、発熱外来のひっ迫だった。第8波までにこうした課題への対策を講じる必要がある。</p> <p>3 第8波に向けた対策のポイント 資料に沿って説明【市長】</p> <p>4 本部長指示 別紙のとおり</p>

	閉 会
資 料 ・ 特記事項	<p>1 資 料</p> <p>《感染状況等》</p> <p>(1) 第6波以降の感染発生等の状況</p> <p>(2) コールセンターの状況</p> <p>(3) 病床使用状況</p> <p>(4) 1週間あたりの救急搬送の推移</p> <p>(5) 市立学校の陽性者数・学級閉鎖数の推移</p> <p>(6) 保育所等の陽性者数・休園数の推移</p> <p>(7) インフルエンザ発生状況（市内）</p> <p>(8) オミクロン株対応ワクチン接種実績 累積接種数</p> <p>《第7波における課題》</p> <p>(1) 第6波以降の感染発生等の状況（再掲）</p> <p>(2) コールセンターの状況（再掲）</p> <p>(3) 病床使用状況（再掲）</p> <p>(4) 救急出動件数・救急搬送困難事案件数（年齢区分別）</p> <p>《第8波に向けた対策のポイント》</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>

- 各本部員は、本日共有した、第8波に向けた横浜市の対策を十分に理解し、各所属に求められる役割をしっかりと果たしてください。いつもお伝えしているとおり、「スピード感」、「市民目線」、「全体最適」の視点を大切に、市民、事業者の皆様のニーズを的確に捉え、対応をお願いします。
- また、職員の感染者も、徐々に増えてきています。勤務時間内外を問わず、基本的な感染症対策を行い、感染リスクが高い行動は避けるよう、改めて、職員一人ひとりに周知を徹底してください。

市民の皆様へのお願いです。

- 横浜市の新型コロナウイルス新規感染者数は、10月下旬から、再び増加の傾向が見られ、今後、さらなる感染の拡大や、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されています。
- 横浜市もできる限りの対策を講じていますが、医療資源には限りがあります。発熱外来や救急体制のひっ迫を防ぎ、市民の皆様のお守りするためには、市民の皆様のご協力が欠かせません。
- そこで、手洗い・うがいなど基本的な感染症対策のお願いに加え、皆様に次の2つのお願いをさせていただきます。
- 一つ目は、「早期のワクチン接種」です。
- 発症や重症化を防ぐため、できる限り早期に、オミクロン株対応ワクチンの接種をご検討ください。現在、市内約2,000か所の医療機関に加え、集団接種会場も10か所設置しています。ぜひ積極的な接種の検討をお願いいたします。
- 二つ目は、「検査キットの常備」です。
- 発熱などの体調不良時に備えて、新型コロナウイルス感染症抗原定性検査キットの常備を各ご家庭にお願いします。重症化リスクの高い方の受診機会を確保するため、その他の方で症状の軽い方は、抗原検査キットでの自己検査や、ご自宅での療養にご協力ください。
- 横浜市は、今後もあらゆる感染症対策を講じ、市民の皆様のお命と暮らしをお守りしていきます。引き続き、我々としても、市民・事業者の皆様とご一緒に、この状況を乗り越えていきたいと考えています。ご協力をお願いします。